

# 日本生協連の輸入食品の安全確保の取組み

---

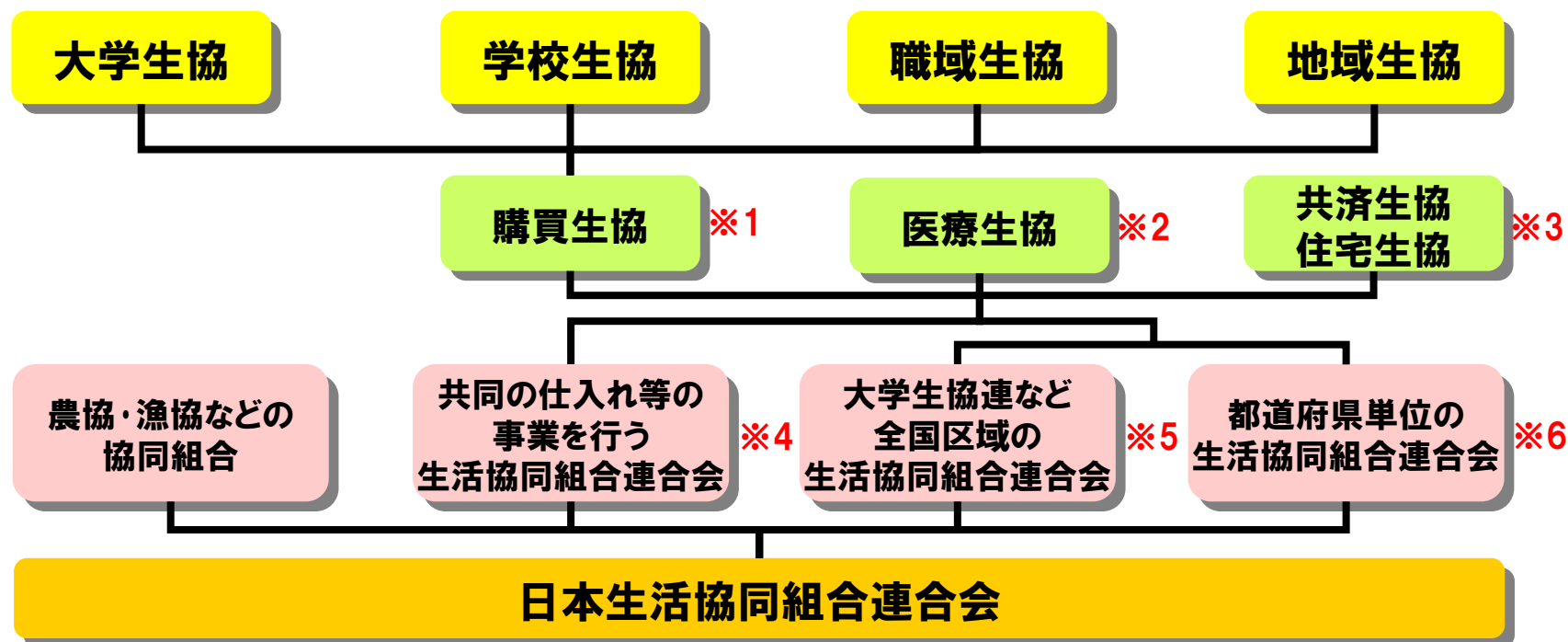
「輸入食品等の安全確保に関する意見交換会」

2008.1.29 日本青年館

2008.1.30 天満研修センター

日本生活協同組合連合会  
品質保証本部 商品検査センター  
和田伊知朗

# 日本生協連と会員生協

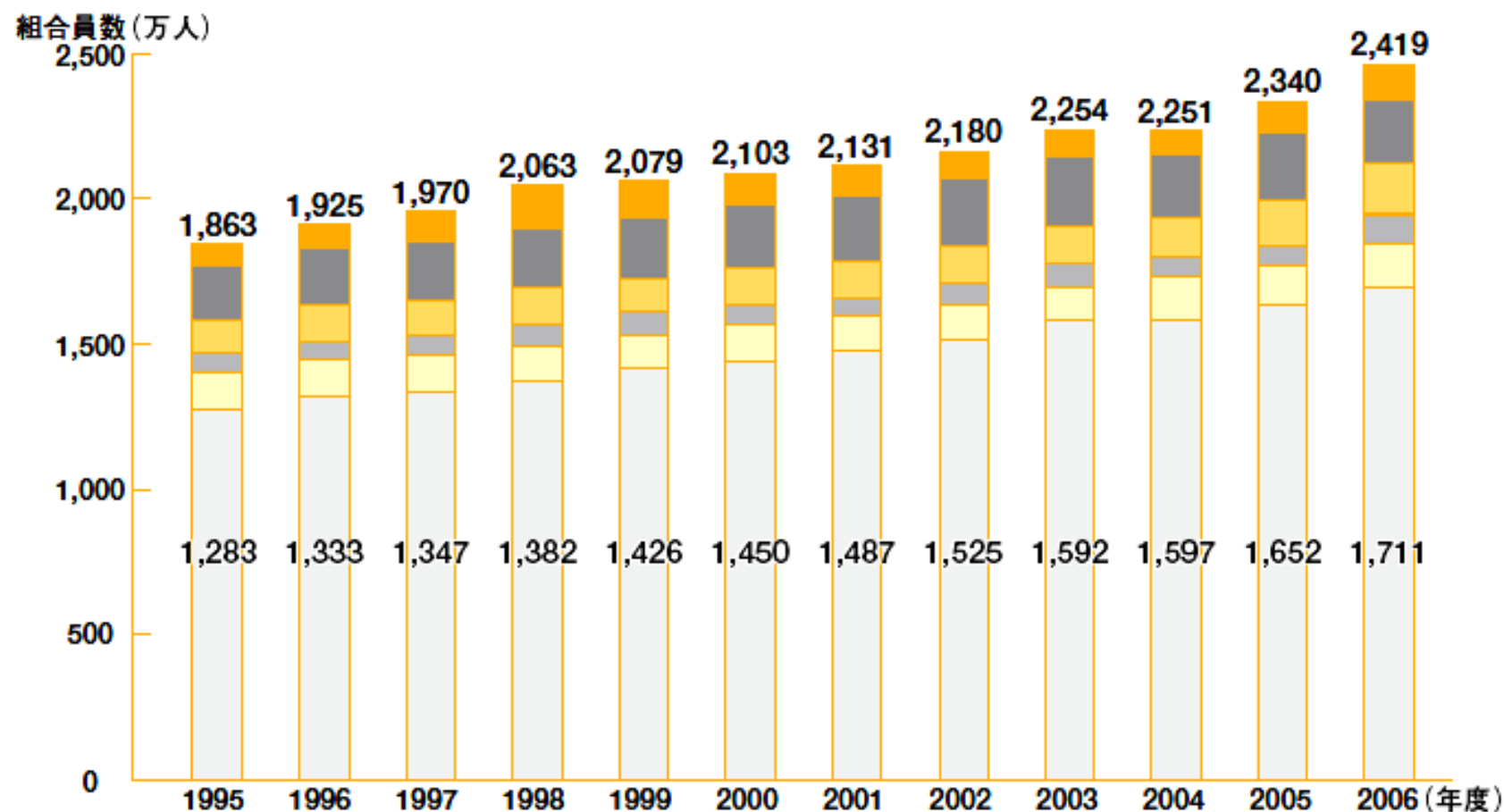


- ※1 商品の供給事業を中心に行っている生協
- ※2 病院や診療所を持ち、医療・保健活動・高齢者福祉活動を行っている生協
- ※3 共済事業や住宅や宅地の分譲・賃貸事業を行っている生協
- ※4 コープネット事業連合、サンネット事業連合など
- ※5 全国区域の生活協同組合連合会(大学生協連、全労済など)
- ※6 都道府県単位的生活協同組合連合会(県連＝県内の生協の連絡・調整)

# 組合員数の推移

## ●種別生協の組合員数の推移

■共済・住宅 ■医療 ■大学 ■学校 ■職域 ■地域



# 日本生協連の主な事業と活動

## ①主な事業

商品事業(開発・供給等)  
共済事業(共済・ライフプラン)  
福祉事業(福祉介護等)

- コープ商品は約7,000品目
- 食品が約5,500品目
- 昨年のコープ商品の供給は2,750億円

## ②政策提言・社会的課題の活動

食品の安全を守る取り組み  
消費者問題への取り組み  
環境保全の取り組み  
食育・農業問題の取り組み  
ユニセフなど国際協力の取り組み  
災害被災地復興支援の取り組み

## ③くらしの助け合い・福祉の活動

くらしの助け合い活動  
食事会・配食活動  
子育て支援  
声の商品案内サービス

「食品の安全」は生協の  
最も重要な課題の一つ!

# 日本生協連の考え方と取り組み

**「安全」**：科学的な実証に基づく客観的な評価

その時の科学的な水準を基に検証され、新たな知見により評価結果が変わる事もある。

→科学的な「安全」を追求する取り組み：

「安全な商品」を供給する仕組みを作り上げる。

**「安心」**：一人一人が感じる評価

科学的な評価では「安全」という結果でも、不安や不信があれば「安心」、「信頼できる」という評価は得られない。

→組合員・消費者の「信頼」を得るために：

適時、適切な情報提供により、組合員・消費者との信頼関係を築き上げる。

# 「食品の安全」の課題

**3つの課題（消費者運動と事業活動の両面から）**

- ①安全・品質・安心に関する調査・研究の推進**
- ②「食品の安全」の社会的な取り組みの推進**
- ③安全・品質・安心を追求したコープ商品の開発**

# ①食品の安全・品質の調査・研究

- 基準作成・政策立案
- 意見や商品苦情の受付
- 商品改善提案
- 品質管理と点検・検証
- 学会・シンポジウム参加
- 検査・調査・研究（商品・くらし・物質等）
- コーデックスなど国際会議への参加・調査



*Codex Alimentarius Commission  
CCNFDUS 2007/11*

## ＜品質保証本部＞

くらしと商品研究室    安全政策推進室  
商品検査センター    品質保証部

# 安全・品質の専門分野と連携

## 品質保証本部

3

12月1日現在98名。品質、安全性、表示、コンセプト等に係る政策・基準作成、調査・検査・研究、食品安全行政の専門的事項に対応

### くらしと商品研究室

22

表示基準、商品基準、表示点検、くらし調査  
テストキッチン(官能検査、使い勝手)、  
組合員サービスセンター(苦情・問い合わせ)

### 安全政策推進室

5

安全性に関する調査・研究、商品基準、  
安全に係る商品政策、国際基準等動向調査  
添加物や農薬の安全性評価研究会など

### 商品検査センター

58

コープ商品や安全に係る検査・調査・研究、  
原料/試作品/生産品の開発商品検査、  
市販品モニタリング検査、検査法開発など

### 品質保証部

10

ISO品質マネジメント事務局、製造工場点検、  
商品苦情・事故対応、取引先評価、  
品質・安全取引先協議、定期検査企画など



# 安全・品質・表示に関する業務



残留農薬検査

商品検査センター



微生物検査



品質保証部

工場点検

くらしと商品研究室



表示点検



テストキッチン/官能検査

## ②社会的発信・運動の分野

- 食品安全行政への働きかけ
- 海外の生協との交流（研修等）
- 国際動向の調査（調査、会議）
- 情報の発信・公開（出版・HP等）
- たべる、たいせつフェスティバル
- 食育活動
- 事業活動との連携



*CIES International Food  
Safety Conference 2007*

組合員活動部 政策企画部 渉外広報本部  
国際部 食の安全・エネルギー問題担当

# ③ コープ商品の開発・改善・供給

- コープ商品の開発・改善
- 商品政策の実行
- 原材料・仕様管理
- アレルゲン・GMO情報管理
- マーケティング調査・研究
- 苦情・問合せ管理・取引先管理
- コープ商品の各種情報、供給・流通管理

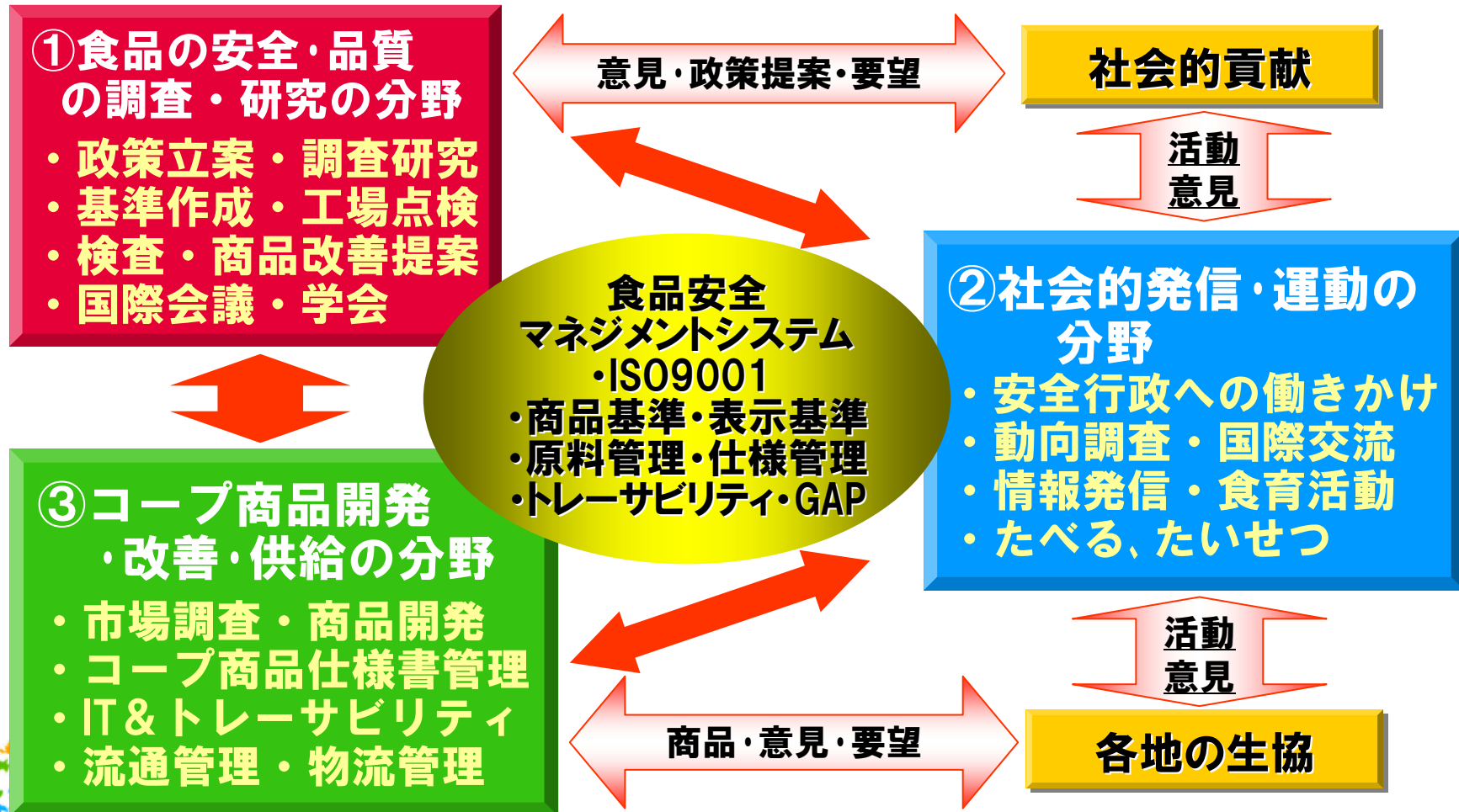
「3つの基本」と「5つの付加価値」



商品本部 営業本部 事業管理本部  
CXグループ（関連会社）

# 「食品の安全」のフレーム

## －取り組みの3つの分野－

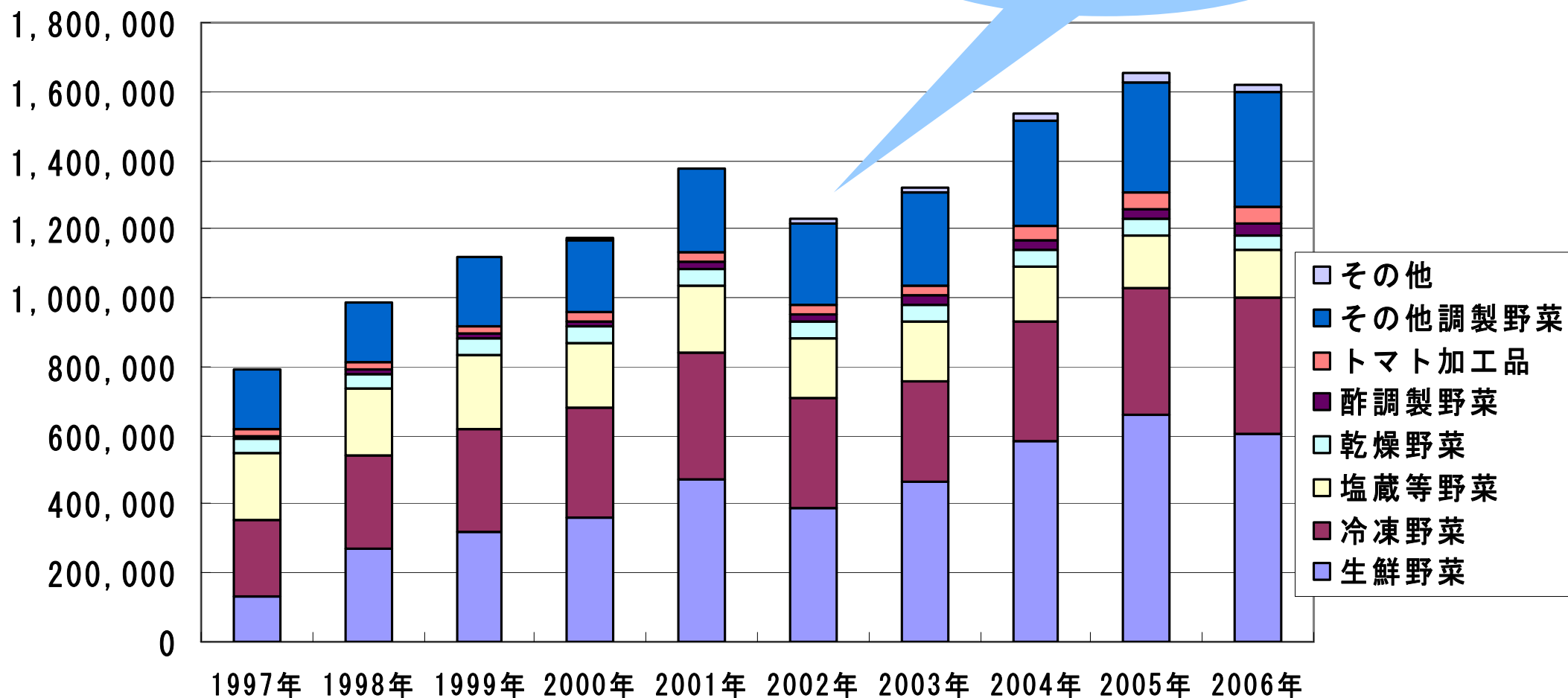


# 食品の輸入量増加の背景

- 自給率の低下
- 農業人口、耕地の減少、農家の高齢化
- 食生活の変化
- （国内農業が対応できていない）
- 端境期に対応、安定した数量調達の必要性
- 輸送技術の進歩
- 開発輸入の増加
  - 海外において輸入業者が日本向けの産品を作るよう生産段階から技術面での指導等を行って、これを輸入する
- 国産農畜水産物、加工品との価格差

# 中国からの野菜輸入量の推移 (単位：トン)

2002年、輸入  
ホウレンソウ問題

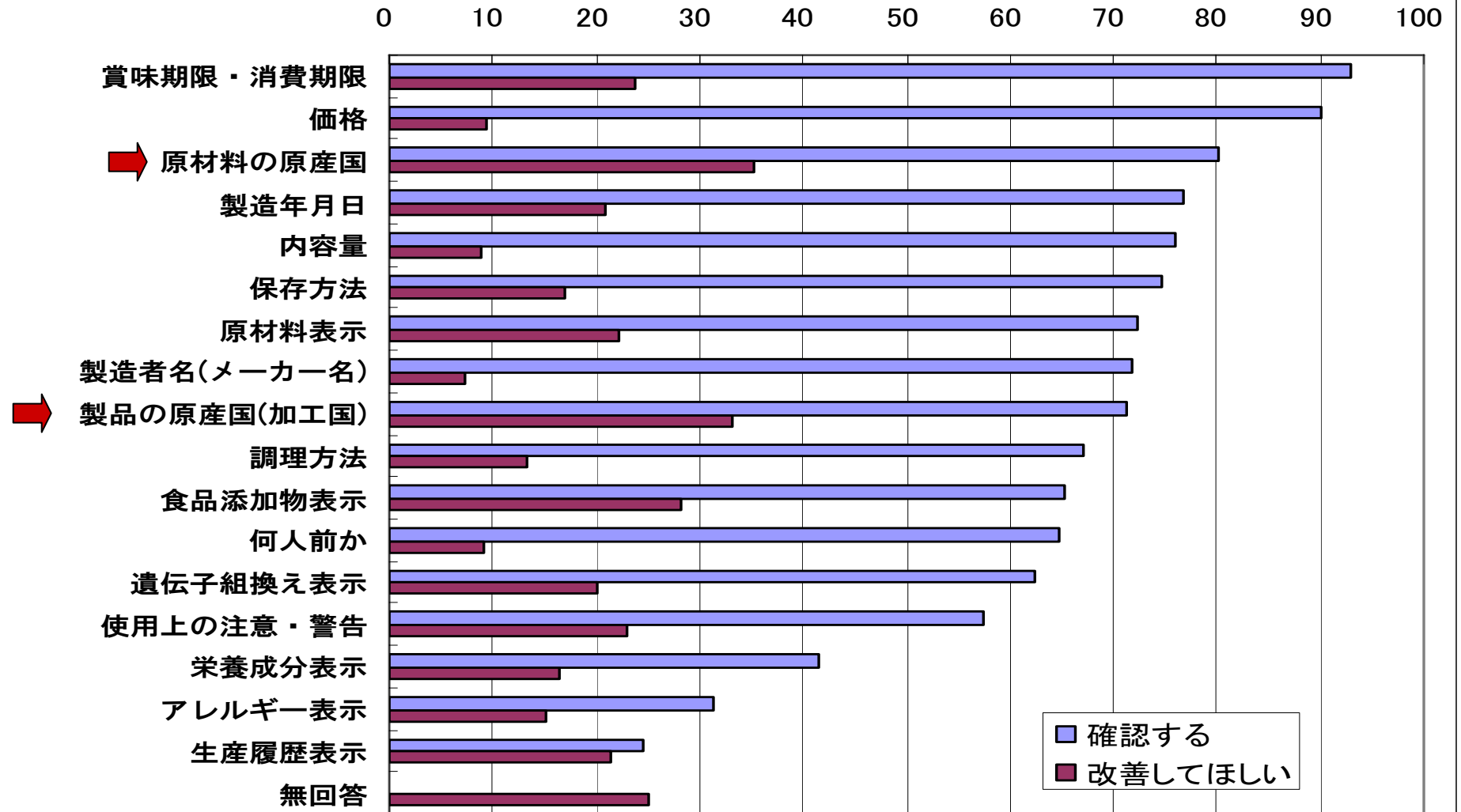


<http://vegetan.vegenet.jp/yunyuudoukou2007.html>

掲載のデータから作成

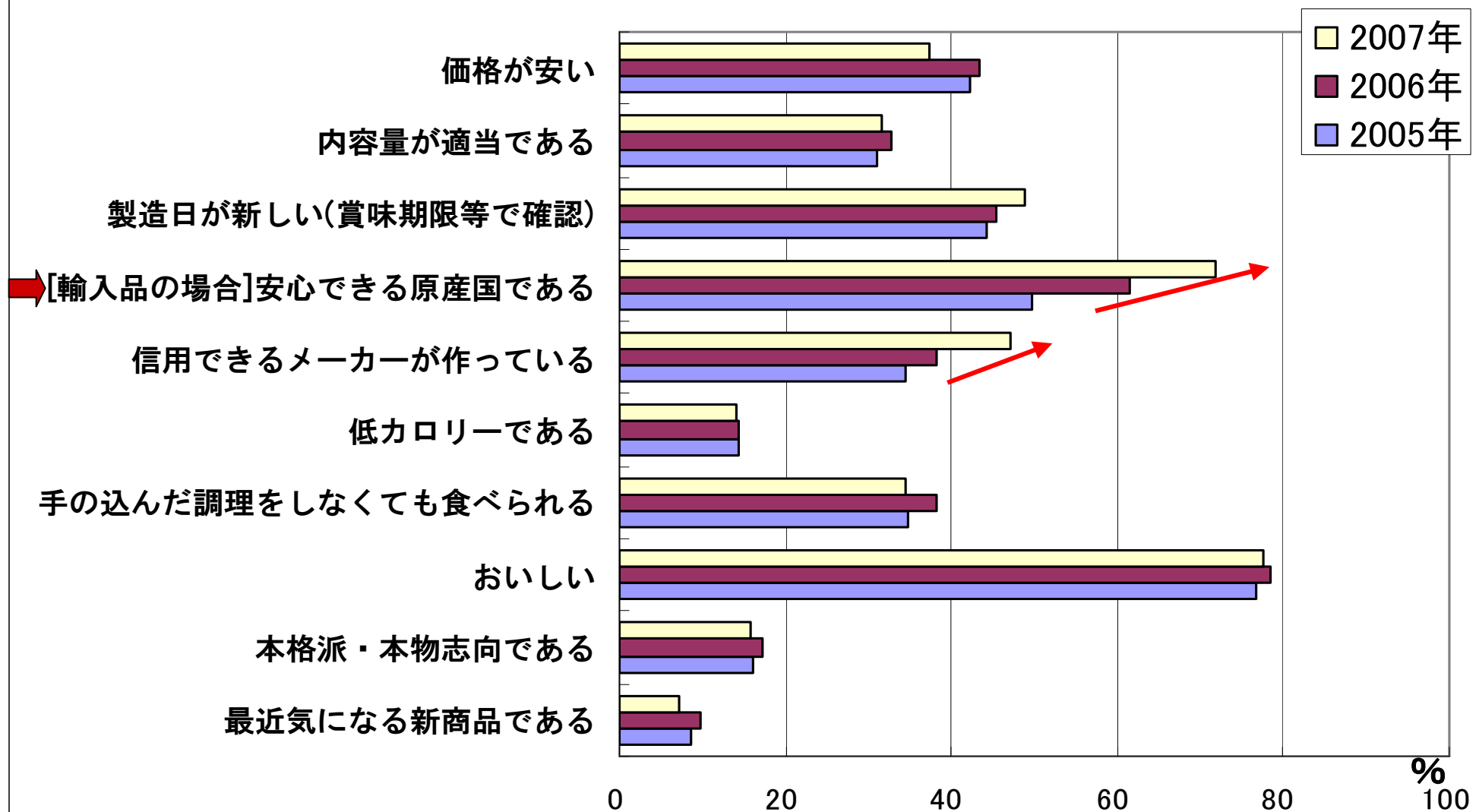


# 食品をお店で購入するときに見るパッケージ表示



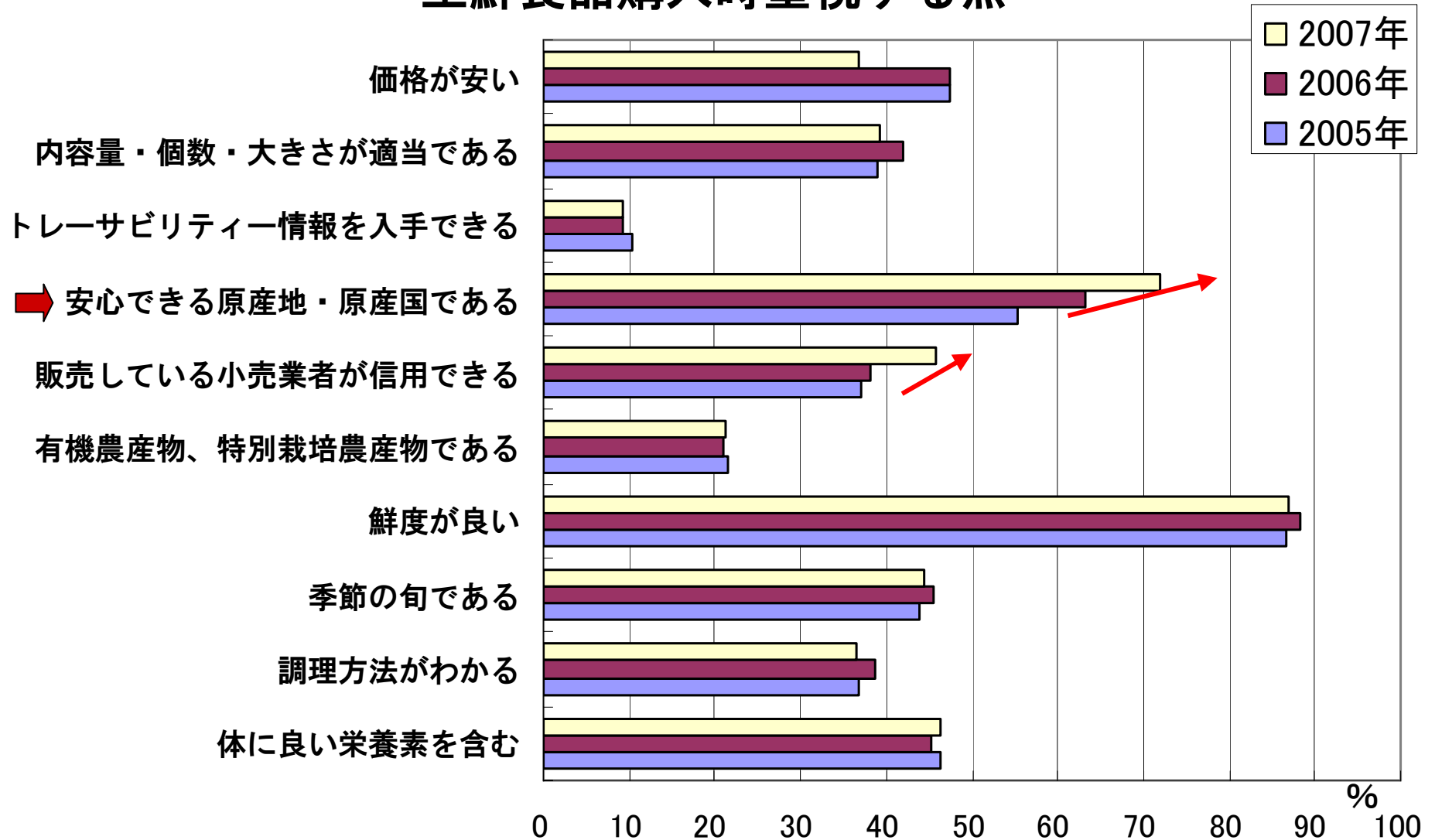
※設問は「改善して欲しい(詳しく表示してほしい、わかりやすく表示してほしい、大きな文字で表示して欲しいなど)表示を選んでください」

## 加工食品購入時重視する点





# 生鮮食品購入時重視する点

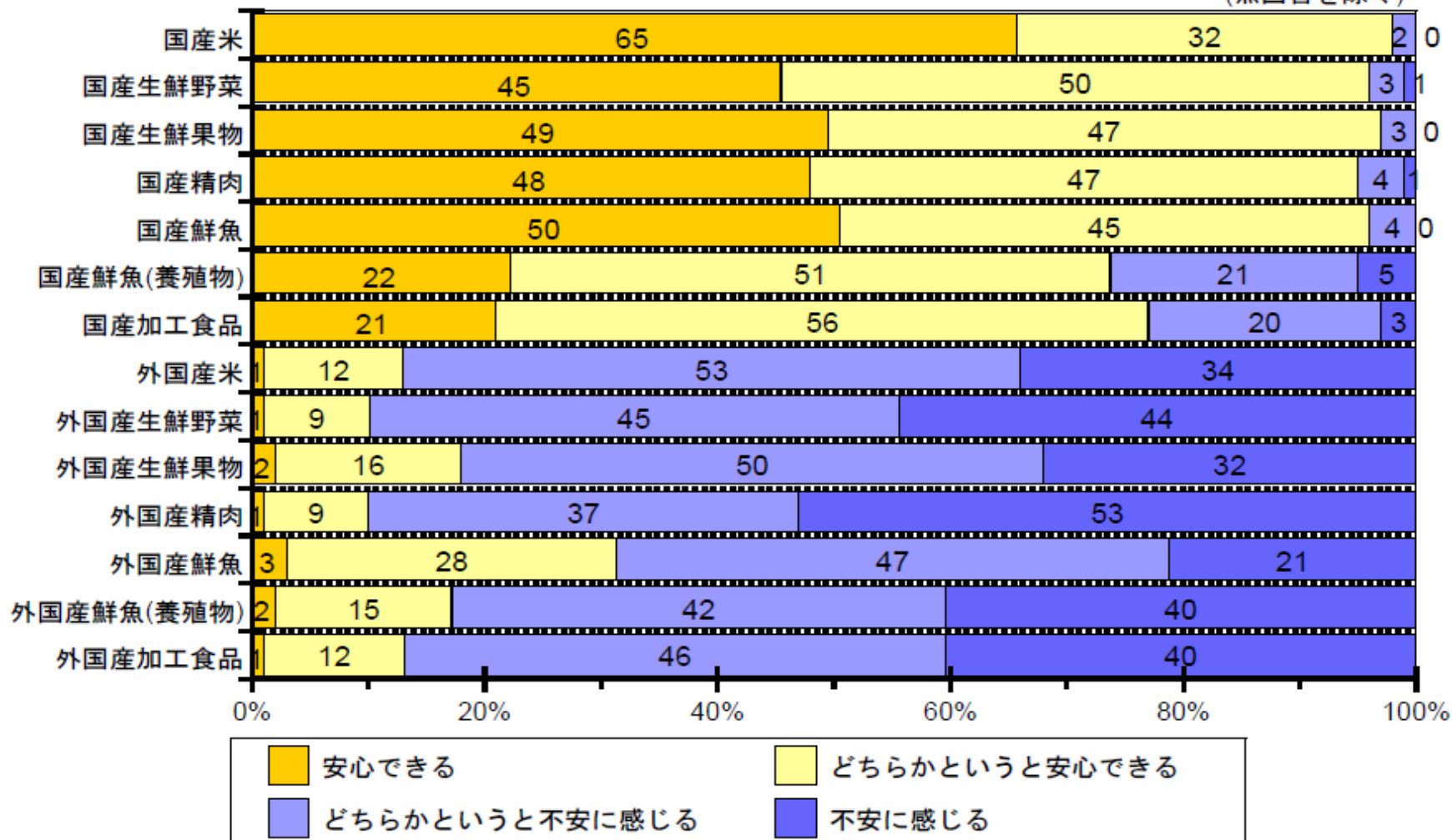


# 「食品に関する安心感・不安感」

～農林水産省 平成18年度食料品消費モニター第1回定期調査～

図1-1 食品に関する安心感・不安感

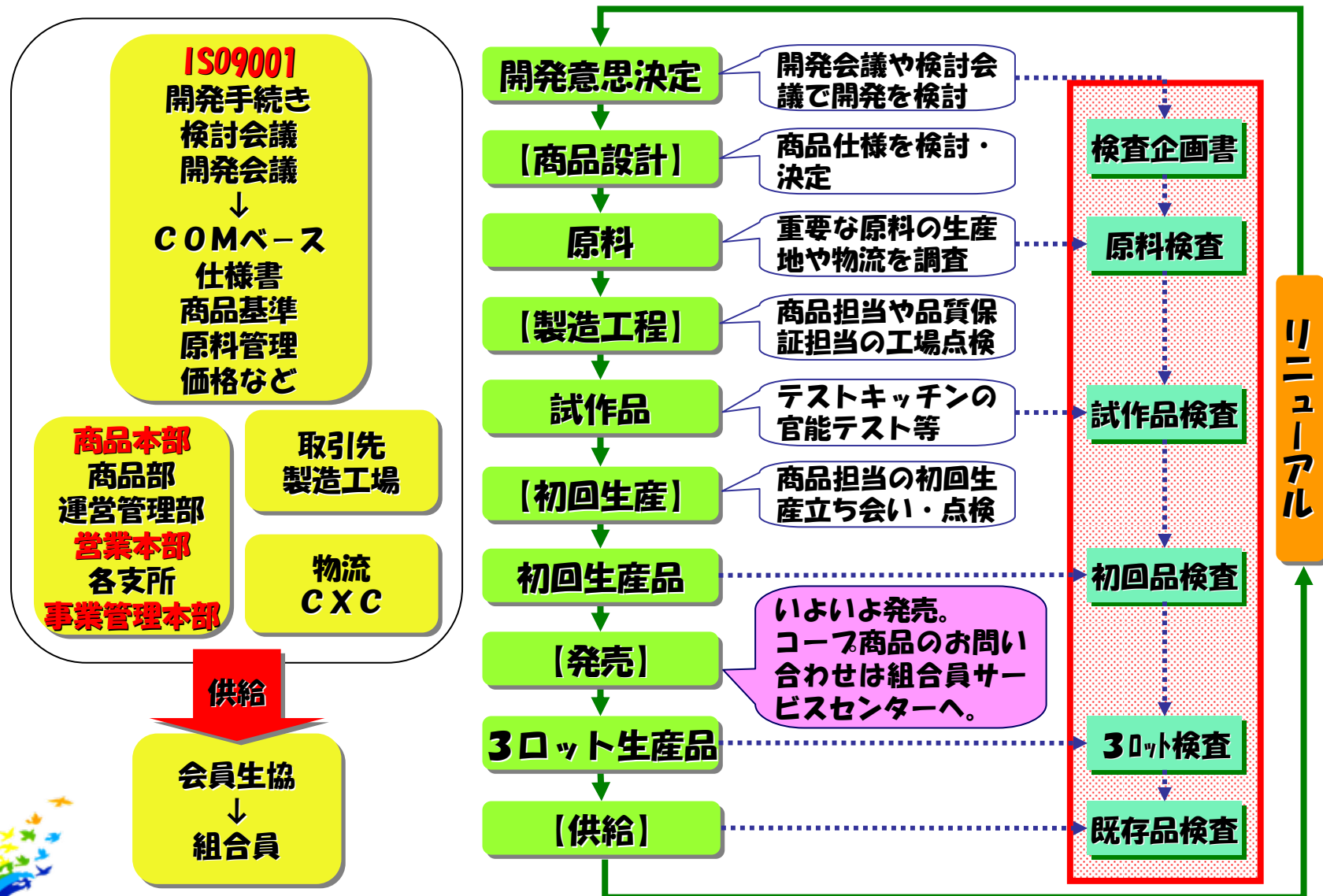
(無回答を除く)



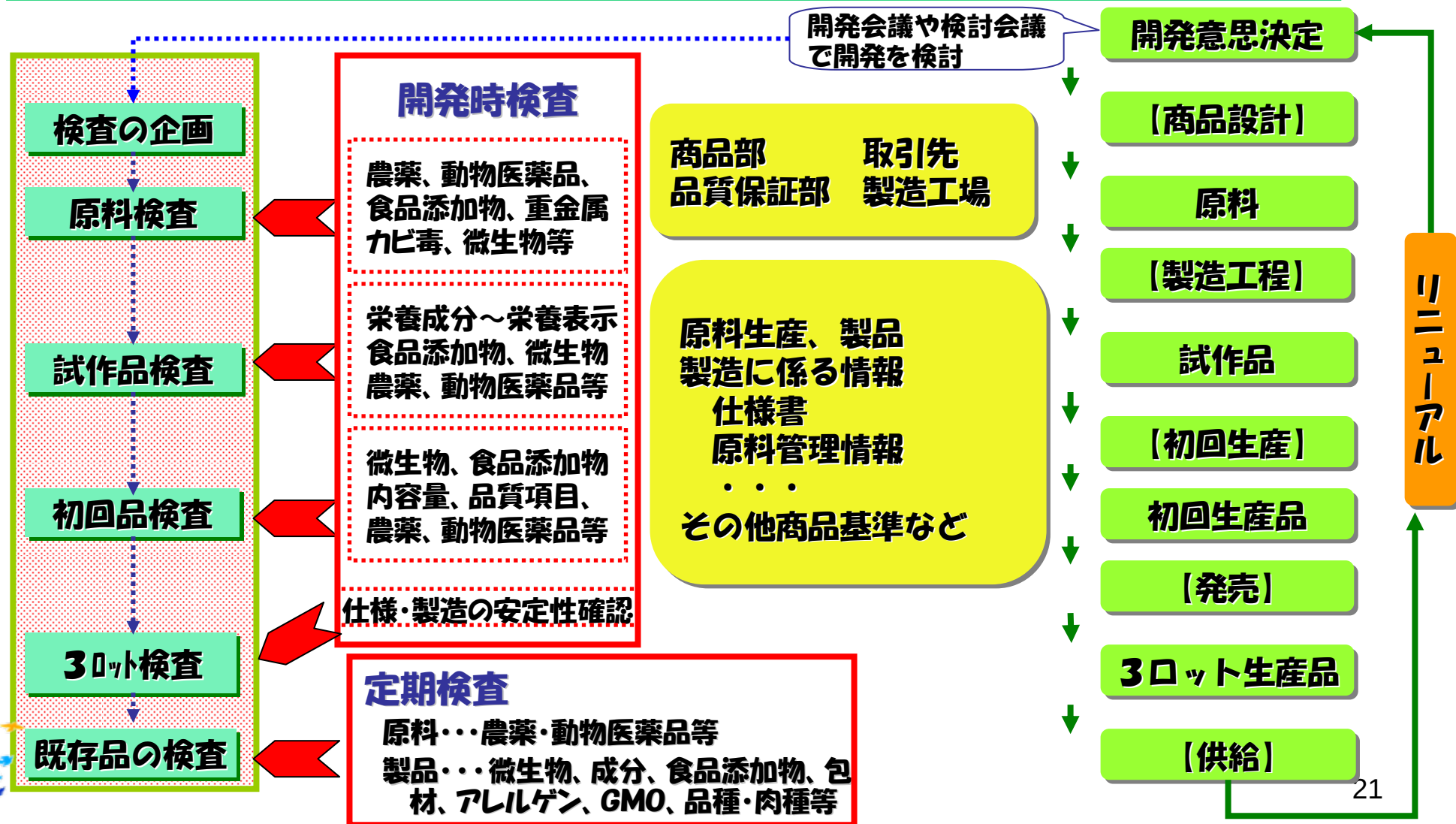
## 食品の安全・品質管理の重点

- 食品に使用される原材料・資材の由来、使用方法など把握
- 製造工場：製造ライン管理、従業員教育・・・雰囲気 etc
- 原材料や中間品のトレーサビリティ、保管管理
- 過去の製造履歴（商品、他の取引先、問題・違反歴等）
- 問題発生時に、原因の特定、製造ロットの確定などトレーサビリティ確保が如何にできるか
- 検査・工場点検（及びその履歴）、お問合せ・苦情内容など……

# 日生協コープ商品のライフサイクルと開発工程



# 日生協における商品の安全・品質確認、検証の流れ



# 検査対象

- 新規開発／改善の日生協コープ商品  
設計品質を仕様、コンセプト、安全性から挙証  
(⇒開発商品の検査システム)
- 供給中の日生協コープ商品  
原料検査や、迎春商品の検査も実施  
商品の製造品質を確認し、自主基準に適合することを確認する  
(⇒供給中商品の定期検査)
- 市販品（日生協コープ商品ではないもの）

# 検査による安全・品質の確保

## <事例紹介>

1. 残留農薬・動物用医薬品等
2. 食品添加物





# 残留農薬、動物用医薬品の検査

## ■ 検査

- ▶ 発売前の原料検査      ⇒ 開発検査
- ▶ 定期的な検査      ⇒ 発売中商品の定期検査

## ■ ポジティブリスト制度（基準が厳しくなったこと）への対応： 違反の可能性があるものを重点的にチェック

- ▶ 重点管理品目    2006年度は88→産地調査、管理ガイドラインによる評価、検査
- ▶ 重点調査品目    2006年度は16→産地調査と一部検査

## ■ 生鮮品については、さらに現地での状況確認

# 残留農薬、動物医薬品の検査

## ポジティブリスト制度に対する基本的な視点

農薬取締法を遵守し、農薬を適正に使用していれば、食品衛生法違反は発生しない。

- ◆海外生産品（物）は、法規制が異なり、特に日本との規制や管理方法（規制）の差異に注意が必要。
- ◆飛散（ドリフト）対策は不可欠である。
- ◆食品衛生法の遵守 ⇒現場は圃場だけではない！

## コープ商品におけるポジティブリスト制度への対応

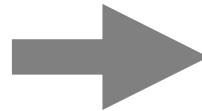
| 検査以外の対応                                                                                                       | 検査の対応                                                                                                |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>1. 重点管理品目</b><br>・原料産地・生産者を限定したコープ商品<br>⇒原材料管理票の整備<br>⇒ポジティブリスト管理ガイドラインの策定<br>⇒産地点検プログラムの策定<br>⇒検査プログラムの策定 | ・開発検査実施<br>・定期的な検査の実施。<br><b>※全対象品目の検査を実施</b><br><b>※一斉・個別(防除暦・検出事例に応じ)分析併用</b>                      |
| <b>2. 重点調査品目</b><br>・社会的関心高く、実態把握必要なコープ商品<br>⇒重点調査検討会議の開催(毎年)<br>⇒産地情報収集の評価<br>⇒検査プログラムの策定                    | ・開発検査実施<br>・定期的な検査の実施<br><b>※全対象品目実施</b><br><b>※一斉・個別(防除暦・検出事例に応じ)分析併用</b>                           |
| <b>3. 一般商品</b><br>・原材料の記録管理を強化するとともに、年間計画に基づいた検査を実施する                                                         | ・必要に応じ、開発検査実施<br>・定期的な検査の実施<br><b>※年間1、000検体程度実施(従来からも継続して実施中)</b><br><b>※一斉・個別(防除暦・検出事例に応じ)分析併用</b> |

## 日本生協連における最近の残留農薬検査から

- ポジティブリスト基準値を超えるサンプルの割合  
2004年度 1.5%、2005年度 1.3%、2006年度 1.2 %
- 最近の検出事例
  - ねぎ(輸入, 04産)      メタミドホス・・・国産原料に切替
  - いちご(輸入, 05産)      メタミドホス・・・当該ロットを撤去
  - にら(輸入, 05産)      オメトエート・・・別の産地に切替
  - みつば(国産, 06産)      アセフェート・・・該当圃場分を除外
  - 枝豆(国産, 06産)      プロチオホス・・・市販品

## 農薬等に関する輸入品違反件数の増加

05年6月～06年5月  
違反件数 91件



06年6月～07年5月  
違反件数 760件

- ▶ 中国:250件
- ▶ ベトナム:143件
- ▶ エクアドル:93件
- ▶ ガーナ:77件
- ▶ 台湾:47件

## 国別の主な違反内容 (2006年)

| 国・地域                               | 違反分類                                                               | 主な違反品目(項目:件数)                                                                                                                                                                                                                                            |
|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>1 中国</b>                        |                                                                    | <b>530件 (0.6%)※</b>                                                                                                                                                                                                                                      |
| 届出件数 578,524件<br>届出重量 4,935,605トン  | 成分規格<br><b>残留農薬</b><br><b>添加物</b><br>抗生物質等<br>カビ毒<br>遺伝子組換え<br>その他 | 冷凍食品(大腸菌群:42、一般生菌数:33、E.coli:20)<br><b>しょうが(BHC:21)、ウーロン茶(トリアゾホス:20)</b><br><b>冷凍食品(サイクラミン酸:23)、洋菓子(アゾルビン:6)</b><br><b>うなぎ(ロイコマカイトグリーン:16、AOZ:10)</b><br>落花生(アフラトキシン:30)、ハトムギ(アフラトキシン:15)<br>ビーフン(Cry1Ac:7)、もち米の粉(Cry1Ac:4)<br>毒魚(魚種鑑別:5)、うるち精米(腐敗・変敗:1) |
| <b>2 米国</b>                        |                                                                    | <b>239件 (1.0%)※</b>                                                                                                                                                                                                                                      |
| 届出件数 196,858件<br>届出重量 13,108,050トン | カビ毒<br><b>添加物</b><br>成分規格<br><b>残留農薬</b><br><b>抗生物質等</b><br>その他    | とうもろこし(アフラトキシン:175)、アーモンド(アフラトキシン:8)<br><b>飲料(エステルガム:4、ソルビン酸:2)、健康食品(ポリソルベート:2)</b><br>食肉製品(E.coli:2)、魚介類加工品(亜硝酸根:2)<br><b>ポップコーン(ピリミホスメチル:2)、レタス(ペルメリン:1)</b><br><b>花粉加工品(オキシテトラサイクリン:2、テトラサイクリン:1)</b><br>小麦(腐敗・変敗:1)、小豆(腐敗・変敗:1)                      |
| <b>3 ベトナム</b>                      |                                                                    | <b>147件 (1.2%)※</b>                                                                                                                                                                                                                                      |
| 届出件数 41,494件<br>届出重量 433,361トン     | <b>抗生物質等</b><br>成分規格<br><b>添加物</b><br><b>残留農薬</b><br>カビ毒           | <b>いか(クロラムフェニコール:49)、えび(クロラムフェニコール:36、AOZ:2)</b><br>冷凍食品(大腸菌群:23、一般性菌数:6、E.coli:13)<br><b>魚類加工品(二酸化硫黄:2、TBHQ:1、サイクラミン酸:1)</b><br><b>ほうれんそう(インドキサルプ:2、クロルピリホス:1)、</b><br>ハトムギ(アフラトキシン:1)、こうりゃん(アフラトキシン:1)                                                 |

※ 届出件数に対する違反件数(カッコ内は検査件数に対する違反件数の割合)

[http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/iken/dl/071027-2\\_0008.pdf](http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/iken/dl/071027-2_0008.pdf) から抜粋

## 国別の主な違反内容（2006年）

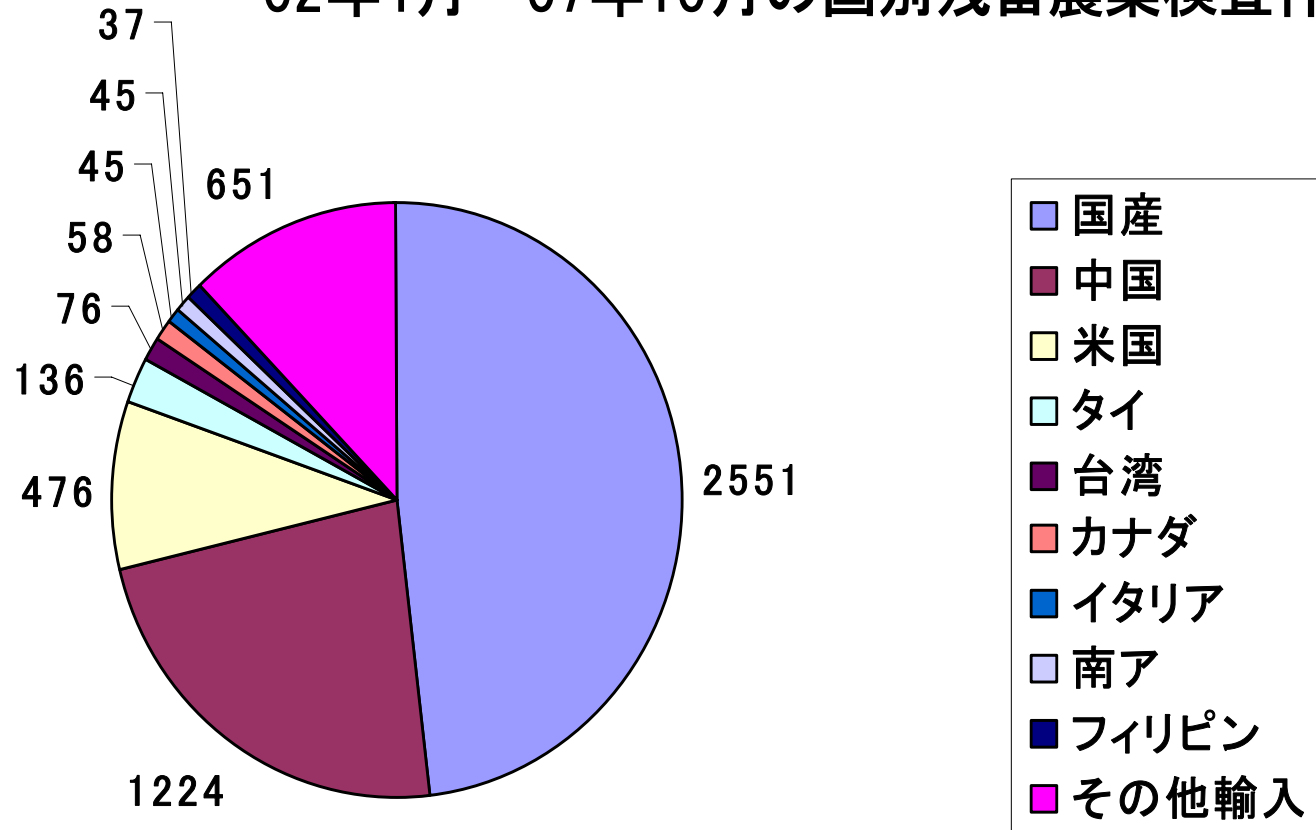
| 国・地域                              | 違反分類                                              | 主な違反品目(項目:件数)                                                                                                                                                                                  |
|-----------------------------------|---------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>4 タイ</b>                       | <b>120件 (0.6%)※</b>                               |                                                                                                                                                                                                |
| 届出件数 122,043件<br>届出重量 1,251,371トン | 成分規格<br><b>残留農薬</b><br>カビ毒<br><b>添加物</b><br>その他   | 冷凍食品(大腸菌群:32、一般性菌数:21、E.coli:8)<br><b>オオパコエンドロ(ジフェノコナゾール:3)、マンゴー(フロピコナゾール:3)</b><br>ハトムギ(アフラトキシン:4)、とうがらし(アフラトキシン:2)<br><b>果実加工品(二酸化硫黄:2、TBHQ:1、ポリソルベート:1)</b><br>うるち精米(腐敗・変敗:10)、もち米(腐敗・変敗:3) |
| <b>5 ガーナ</b>                      | <b>71件 (15.0%)※</b>                               |                                                                                                                                                                                                |
| 届出件数 705件<br>届出重量 47,303トン        | <b>残留農薬</b><br>成分規格                               | <b>カカオ豆(クロルピリホス:37、ピリミホスメチル:26、エンドスルファン:4)</b><br>キャッサバ(シアン化合物:1)                                                                                                                              |
| <b>6 エクアドル</b>                    | <b>69件 (16.7%)※</b>                               |                                                                                                                                                                                                |
| 届出件数 1,763件<br>届出重量 122,411トン     | <b>残留農薬</b>                                       | <b>カカオ豆(2,4-D:66、シペルメリン:2、マラチオン:1)</b>                                                                                                                                                         |
| <b>7 台湾</b>                       | <b>50件 (0.7%)※</b>                                |                                                                                                                                                                                                |
| 届出件数 29,270件<br>届出重量 217,828トン    | <b>残留農薬</b><br><b>抗生物質等</b><br><b>添加物</b><br>成分規格 | <b>マンゴー(シペルメリン:13、シフルリン:4)、ウーロン茶(プロモプロピレート:8)</b><br><b>うなぎ(AOZ:5)、やいととはた(マラカイトグリーン:2)</b><br><b>飲料(サイクラミン酸:3)、野菜加工品(TBHQ:2)</b><br>冷凍食品(大腸菌群:2、器具(カドミウム:2)                                    |

※ 届出件数に対する違反件数(カッコ内は検査件数に対する違反件数の割合)

[http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/iken/dl/071027-2\\_0008.pdf](http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/iken/dl/071027-2_0008.pdf) から抜粋

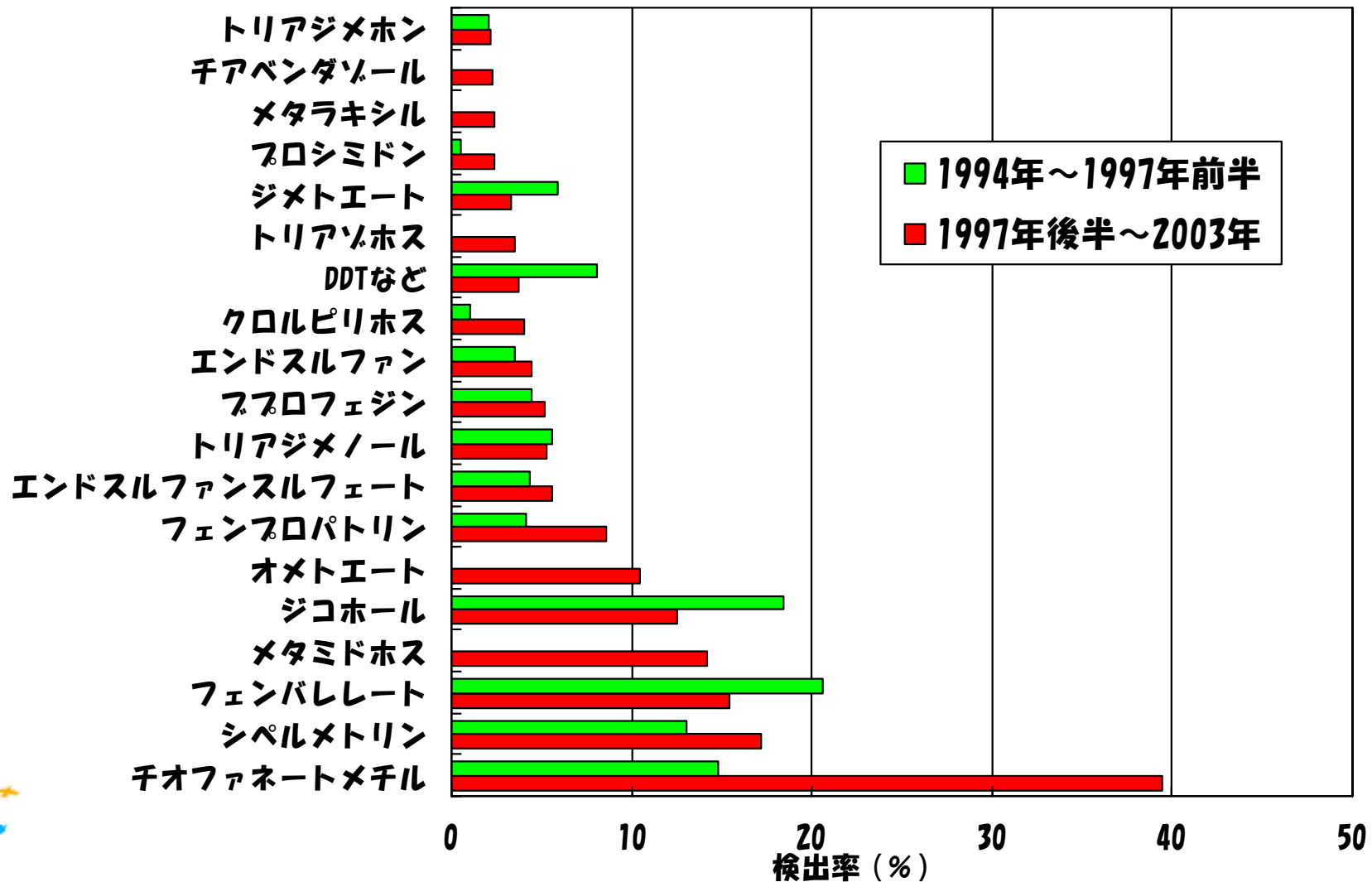
## 残留農薬検査の国別実施状況(日本生協連商品検査センター)

02年4月～07年10月の国別残留農薬検査件数





# 中国産サンプルからの検出農薬



## 残留農薬等の検査の際に重視する点

- コープ商品は、海外で製造されるものも少なくない(商品パッケージに中国産・製造を表示するもので約280品目)。世界各国で生産される原料を使用している。

⇒これらの状況に対応するため、出来るだけ多くの対象物質について、効率的且つ効果的な検査を行う必要がある。

ex: 分析法; 一斉分析法の採用(農薬、動物医薬品、食品添加物)

# 残留農薬等の検査の際に重視する点

検査項目や対象原料検査の際に、以下の事項に基づいて（ある程度）優先度を設定する・・・

- 出荷量 ……世界の出荷量（市販データベース）、日本の出荷量
- 検出事例や問題となっている事例
  - ……輸入検疫、米国FDAモニタリングデータ、EUの規制等
- 各国での基準値設定、登録・使用状況
- 商品化された時期……新規農薬等
- 使用時期……栽培後期に使用する農薬（除草剤など）
- その他 ……毒性、残留性など



# 食品添加物の検査

## ■ 検査

- ▶ 発売前の原料や試作品、初回生産品 ⇒ 開発検査
- ▶ 定期的な検査 ⇒ 発売中商品や商品原料の定期検査

## ■ 食品衛生法、日本生協連自主基準に基づく対応

### 日本生協連自主基準

管理添加物(59): 安全性評価に基づき運用を決定

- ・不使用品目(22)
- ・留意使用品目(37)

保留添加物(55): 日本生協連において「安全性評価が現時点で未了の食品添加物」で基本的に使用を避ける。

# 食品添加物管理・基準の運用

## 日本生協連の基本的な考え方

- ★ 使用の是非は、**安全性評価を第一義**とする。
- ★ 使用しなくても済むものは、可能な限り使用しないが、使用の方が組合員・消費者にとって明らかに利益であると認められた場合には、**必要最低限度において使用する**。
- ★ 食品添加物の安全性評価は、現時点の科学水準に基づくもので、今後も科学的知見による**再評価・見直しを不断に継続することとする**。

# 管理添加物と保留添加物

- **管理添加物(59):** 安全性評価に基づき運用を決定
  - ・ **不使用品目(22):** 日本生協連の安全性評価の結果明らかな問題点が指摘され、必要性、有用性の面においても優位性に欠けると判断し、消費者のより一層の安全を確保するため、日本生協連としては「不使用」とした品目。
  - ・ **留意使用品目(37):** 日本生協連の安全性評価の結果、何らかの問題点が指摘された添加物である。しかし、安全性、必要性、有用性を慎重に検討した結果、それを使用することの方が、消費者にとって、安全性上の問題点に勝るだけの利益が得られる可能性も否定できない(以下省略)
- **保留添加物(55):** 日本生協連において「安全性評価が現時点で未了の食品添加物」で基本的に使用を避ける。

(以上、2007年11月現在)

## 食品添加物（各国の規制の違い,登録の有無 例）

### 酸化防止剤

○; 登録, ×; 未登録

|                    | 日本 | 中国 | 韓国 | アメリカ | EU | CODEX |
|--------------------|----|----|----|------|----|-------|
| BHA                | ○  | ○  | ○  | ○    | ○  | ○     |
| BHT                | ○  | ○  | ○  | ○    | ○  | ○     |
| TBHQ               | ×  | ○  | ×  | ○    | ×  | ○     |
| トリヒドロキシブチル<br>フェノン | ×  | ×  | ×  | ○    | ×  | ×     |
| ノルジグアヤレチック<br>酸    | ×  | ×  | ×  | ×    | ×  | ×     |
| 没食子酸プロピル           | ○  | ○  | ○  | ○    | ○  | ○     |
| 没食子酸ラウリル           | ×  | ×  | ×  | ×    | ○  | ○     |

## 食品添加物（日本生協連の検査結果 1/2）

| 年度   | ソルビン酸    | 安息香酸      | BHA     | BHT      | TBHQ    | エリソルビン酸 |
|------|----------|-----------|---------|----------|---------|---------|
| 2002 | 1085(10) | 1092(6)   | 842(1)  | 839(8)   | 818(3)  | 45(1)   |
| 2003 | 1422(12) | 1526(103) | 1308(3) | 1306(7)  | 1257(4) | 47(0)   |
| 2004 | 1739(11) | 1890(135) | 1590(2) | 1590(15) | 1565(1) | 21(0)   |
| 2005 | 1487(23) | 1584(234) | 1346(3) | 1346(15) | 1287(5) | 21(0)   |
| 2006 | 1390(11) | 1548(145) | 1271(1) | 1271(15) | 1231(3) | 31(2)   |

数値は、市販品を含めた検査数。括弧内の数値は検出数を示す。



## 食品添加物 (日本生協連の検査結果 2/2)

| 年度   | 亜硝酸    | 亜硫酸     | 縮合リン酸   | グリチルリチン | ステビア    | サイクラミン酸 |
|------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 2002 | 101(2) | 61(3)   | 226(8)  | 2(0)    | 2(0)    | 1(0)    |
| 2003 | 94(3)  | 191(10) | 339(12) | 53(3)   | 310(3)  | 25(0)   |
| 2004 | 132(5) | 181(31) | 469(15) | 79(3)   | 362(1)  | 26(0)   |
| 2005 | 83(32) | 160(46) | 243(27) | 298(16) | 478(15) | 249(5)  |
| 2006 | 95(51) | 188(32) | 295(30) | 555(3)  | 551(13) | 536(2)  |

## 日本生協連における検査の役割

- 検査は、商品の安全・品質を担保し、点検し、検証する**手段の一つ**。
- 残留・汚染等の実態をモニタリングすることにより、商品の安全性・品質に関わる知見を積み重ね、コープブランドの品質保証に貢献する。  
⇒⇒分析(解析)、予知、予防…
- 生産・製造現場での管理状況や、法制度など情勢の変遷に伴う動向を把握・解析し、社会的な働きかけ・発信の基とする。

# ■ 日生協の安全、品質確保・検証の取り組み

## 1. 商品の安全性・品質の維持向上

### ① 商品仕様管理

- ・リスク評価
- ・商品基準・表示基準体系
- ・商品設計・表示の点検、サポート

### ② パートナーとしての取引先・・・

### ③ 工場点検、商品検査、商品テスト

# 日生協の安全、品質確保・検証の取り組み

## 2. 組合員、会員、社会への信頼づくり

### ① 顧客情報の活用

- ・苦情・お問合せ対応～組合員の声
- ・危機管理対応

### ② 品質マネジメントシステム

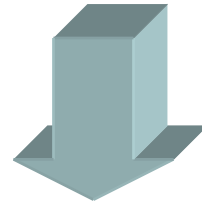
- ・ISO 9001のもとでの機能の充実～新たなシステムの検討

### ③ 社会的提言機能、広報活動

- ・正しい情報を迅速に提供する
- ・リスクコミュニケーション

# 食品の安全性、品質確保の取組み

- 生産・製造段階におけるリスク評価とリスクの管理
- フードチェーンアプローチ
- 食品の安全性を確保できる総合的なシステム整備



消費者からの強い信頼感を得る。

